

2. 事業の概要と成果																																													
(1) 上位目標の 達成度	達成。 本事業での道路補修研修にて約 5,600m のコミュニティ道路が補修された。通年通行可能な道路となり、維持管理計画研修で具体的な道路補修計画が策定された。																																												
(2) 事業内容	(ア) グループリーダーへの施工に関する研修 (イ) 実施工とグループメンバーへの施工に関する実地研修 (ウ) 住民グループの農道整備能力強化研修を通した農道整備の成果に関するワークショップ (他 NGO 団体への研修含む)																																												
(3) 達成 された成果	(ア) グループリーダーへの施工に関する研修 ① 施工計画立案、必要資機材の積算 ② 道路沿線住民間の合意形成 ③ 施工監督、施工記録、維持管理計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>村名</th> <th>エーヤワディ ー地域 チョンチャイ</th> <th>カレン州 シン グー</th> <th>ネピドー連邦 レイ ウエイ</th> <th>エーヤワディ ー地域 カンター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リーダー (人)</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>リーダー補佐 (人)</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>研修日数 (日)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 本年度は、昨年度の課題 (施工記録、積算の研修内容習熟度が低い) の改善に努め研修内容を見直した。エンジニア、フィールドスタッフに加え、本事業の会計担当者が研修を行い、最も課題とする道路補修費の調達方法に関する研修を充実させた。前年度 (H25 年度) 事業地のラカナ、カンター村の成功例を踏まえ①マイクロファイナンス制度の紹介 (ラカナ村がコミュニティ内で実施しているマイクロファイナンス手法の共有)、②プロポーザル作成方法、③コミュニティファンド管理方法を研修に取り入れた。実際に研修を行ったすべてのコミュニティグループが次年度の維持管理工事計画を立案している。レイウェイに関してはコミュニティ内で既に維持管理工事に向けての寄付金を集め始めている。 (イ) 実施工とグループメンバーへの施工に関する実地研修 <table border="1"> <thead> <tr> <th>村名</th> <th>エーヤワディ ー地域 チョンチャイ</th> <th>カレン州 シン グー</th> <th>ネピドー連邦 レイ ウエイ (T/S)</th> <th>エーヤワディ ー地域 カンター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工距離 (km)</td> <td>1.9</td> <td>2.7</td> <td>1.0</td> <td>0.2 (橋梁)</td> </tr> <tr> <td>参加者 (人) / 日</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>研修日数 (日)</td> <td>120</td> <td>150</td> <td>90</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table> すべての事業地においてリーダーが主体となり工事を進める事ができた。シングレー村においては、ミャンマー全土が被害を受けた十数年に一度と言われる記録的豪雨によって補修道路の一部が損壊する被害を受けた。しかし、コミュニティが主体となって修繕工事を迅速に行った事で大事には至らず現在は問題なく通行可能な道路となっている。 (ウ) 住民グループの農道整備能力強化研修を通した農道整備の成果に関するワ					村名	エーヤワディ ー地域 チョンチャイ	カレン州 シン グー	ネピドー連邦 レイ ウエイ	エーヤワディ ー地域 カンター	リーダー (人)	5	7	5	5	リーダー補佐 (人)	5	7	5	5	研修日数 (日)	2	2	2	2	村名	エーヤワディ ー地域 チョンチャイ	カレン州 シン グー	ネピドー連邦 レイ ウエイ (T/S)	エーヤワディ ー地域 カンター	施工距離 (km)	1.9	2.7	1.0	0.2 (橋梁)	参加者 (人) / 日	25	20	18	40	研修日数 (日)	120	150	90	105
村名	エーヤワディ ー地域 チョンチャイ	カレン州 シン グー	ネピドー連邦 レイ ウエイ	エーヤワディ ー地域 カンター																																									
リーダー (人)	5	7	5	5																																									
リーダー補佐 (人)	5	7	5	5																																									
研修日数 (日)	2	2	2	2																																									
村名	エーヤワディ ー地域 チョンチャイ	カレン州 シン グー	ネピドー連邦 レイ ウエイ (T/S)	エーヤワディ ー地域 カンター																																									
施工距離 (km)	1.9	2.7	1.0	0.2 (橋梁)																																									
参加者 (人) / 日	25	20	18	40																																									
研修日数 (日)	120	150	90	105																																									

ークショップ（他 NGO 団体への研修含む）

a. 地域開発局（DRD）へ向けたワークショップ

連携省庁である各地の地域開発局職員、エンジニアへ向け事業報告及び技術共有ワークショップを行った。同ワークショップでは事業地（レイウェイ）の視察研修も取り入れ、参加者達に土のう工法の効果についてより深く理解を得る事ができた。

b. 事業地周辺村、僧侶へ向けての研修

チョンチャイ、カンター、レイウェイの周辺村コミュニティへ向けて、道路補修整備技術についての研修を行った。

（参加コミュニティグループ計 9 箇村、36 名）

c. ミャンマーで活動する他 NGO 団体にむけての現地研修

NGO 団体・World Vision と協働し彼等の事業地であるマグエ県にて小学校に繋がる道の道路補修現地研修実施。（参加者：計 500 名）

1. 全事業地に共通する成果

- ① 村民が道路補修技術を習得し持続的に道路補修を行えるようになった。
- ② 関係省庁との関係構築（事業地視察、次年度事業地選び）。
- ③ コミュニティの結束が強化され、道路維持管理への関心が以前より高まった。

2. その他の成果/チョンチャイ村

- ① バイクが通年通行可能になり、バイクタクシービジネスを始める村民が増加し収入向上に繋がった。→10 件増加
- ② 道路状況が改善された事で市場、病院、学校、港へのアクセスが容易となった。
- ③ ②の理由から事業道路沿線の土地の値段が 3～4 倍値上がりした。
- ④ ②の理由から事業道路沿線の新築住宅建設数が 6 件増加した。
- ⑤ ②、④の理由から事業道路の利用者が増加し新たな露天商が 2 件増えた。
- ⑥ 本事業で行った道路補修、及び上記の開発状況が他 NGO 団体より評価され、新たな保健事業を獲得する事ができた。
- ⑦ エーヤワディー地域政府によって建設された橋（事業道路の延長上）の一部に土のう工法が採用された。

→上記成果と共に、現在トラジータクシー（バイクに荷台を付けたもので同時に 10 人前後が乗車できる。作物等もバイクに比べて多く運搬可能である。）を村に走らせる計画が出ている。事業道路沿いに近隣村では初めての国立病院が開院され、本事業道が齎す裨益効果がより高まっている。周辺村も含め村全体が本事業を通して大変活気付いている。

3. その他の成果/レイウェイ村

- ① 雨期時通行不可であった車両が通年通行可能となった。
- ② 仲買人が村に買付へ来るようになった。
- ③ これまでは収穫した作物を人力、又は牛車で運んでいたが、バイク、トラジーが利用可能になり労力、出荷時間が削減された。
- ④ 村からネピドー中心部へ通勤する村民も多くいるが、これまでは悪路が原因で自力で通勤を余儀なくされていた。しかし道路状況が改善された事によって働き先の所有する送迎バス（バン）が村に入る事ができ、交通費の支出が削減された。
- ⑤ 子供達が安全に通学できるようになった。
- ⑥ 良好な道路状況を維持できるよう年 2 回の道路維持工事計画をコミュニティ

が自ら立案し、実現に向けての資金集めを始めるなど、本事業を通してコミュニティの結束がより強くなり組織としての能力も向上した。

⑦ 事業道路に繋がる別コミュニティ道路の補修資金 1,500,000 kyat (15 万円相当) をレイウェイ・タウンシップオフィスより獲得した。研修を受けたコミュニティグループによって補修工事実施予定。

4. その他の成果/カンター村

① 本事業の橋梁建設技術研修参加者によって村内に新たに 3 箇所の小規模橋梁が建設され、作物の流通や通学率の向上に繋がった。

5. その他の成果/H25 年度全事業地における新たな成果（事業終了から一年後のコミュニティ活動等への影響評価結果）

「添付資料 2_ H25 年度事業地の新たな成果について」を参照。

【雨期時通行所要時間 比較表】

		チョンチャイ	シンガー※1	レイウェイ	カンター※2
徒歩	施工前	30 分	90 分	20 分	45 分
	施工後	20 分	調査未	15 分	15 分
自転車	施工前	通行不可	通行不可	通行不可	通行不可
	施工後	10 分	調査未	8 分	8 分
バイク	施工前	通行不可	通行不可	通行不可	通行不可
	施工後	7 分	調査未	3 分	4 分
車	施工前	通行無	通行無	10 台	通行不可
	施工後	通行無	調査未	調査未	通行無

※ 1 雨期時に洪水被害で補修道路が破損した為計測不可。

※ 2 カンター村は H25 度の同事業（2013 年 10 月～2014 年 10 月）にて道路補修を行っている為、施工前の時間は 2013 年 10 月以前のデータとしている。

(4) 持続 発展性

1. 事業実施地域における今後について

本事業では昨年度の課題克服のため、技術研修のみではなくコミュニティが継続して道路補修工事を定期的の実施していくよう、道路維持管理計画研修(コミュニティ組織能力強化研修)に力を入れた。上述の様に実際に研修を行ったすべてのコミュニティグループが次年度の維持管理工事計画を立案し実施に向けて既に動き始めている。レイウェイでは、本事業の実績が認められタウンシップオフィスから新たな道路補修資金を獲得した。このように持続的にコミュニティが自身の力で道路維持管理を継続できる事が期待できる。今後も彼等の活動をフォローアップし、持続発展性につながるよう事業活動内容を充実させる。

2. 他 NGO 団体との連携について

現在、農業、教育支援活動を行う他 NGO 団体より土のう工法を使用した道路補修研修依頼が寄せられている。本年度は World Vision と連携し彼等の事業地にて道路補修研修を行った。今後も他団体とも連携し、住民参加型道路補修整備方法をミャンマー全土に普及して行く予定である。

3. 政府機関との今後の活動について

2015 年 7 月に地域開発局と M.O.U を締結した。2016 年度のすべての事業地を同局と現地調査を行い決定するなど良好な関係を構築できている。

シャン州の地域開発局からは彼等が実施する住民向けの土木技術研修に土のう工法を取り入れる提案もある。今後土のう工法の技術普及へ向け更に政府機関との連携を強化しミャンマー全土の道路状況改善に努める。